

楽しい、きれい、ぴったり次世代デジタルサイネージ

特長

新商品

- 利用者の環境や時間、場所に合わせた広告からクーポンまで多彩な情報提供を実現
- コンテンツを一括管理することで運用管理者の作業を軽減
- 業務システムとの連携による履歴管理、分析、配信のスケジュール化など確実な情報提供が可能
- ワンセグ対応携帯電話にスポットエリア限定コンテンツを配信することも可能

概要

双方向の情報提供装置から表示装置、携帯電話まで多彩なメディアのコンテンツを一括管理できる統合CMS、スポットエリア限定ワンセグコンテンツ配信システムなど利用者、場所、機会にぴったりに楽しく、きれいなデジタルサイネージ商品をご紹介します。



■ 技術のアピールポイント

様々なデジタルサイネージ機器のコンテンツを一括管理

ディスプレイ、双方向情報端末、KIOSK、ホームページなど様々なコンテンツの一括管理が可能となり、効率的・効果的な運用が可能になります。

双方向デジタルサイネージによる確実なコミュニケーションを実現

タッチパネル、FeliCaなどを使った双方向のコミュニケーションで、お客様に合わせた最適な情報を届けます。これにより、コミュニケーション効率化とお客様の利便性をアップします。

多彩なコンテンツでお客様を誘引

「@nifty投票」によるかんたん投票機能や映像伝送装置「IP-900シリーズ」と連携した「リアルタイム映像配信」との連携など、多彩なコンテンツにより、他には無い店内コミュニケーションを実現します。

ワンセグ対応携帯電話へのコンテンツ配信も可能

微弱電波を利用した送信機を使ってスポットエリアにワンセグコンテンツが配信可能。映像を手軽に配信でき、さらに、データ放送部分を活用した携帯サイトへの誘導の仕組みを作ることができます。

■ 想定される利用シーン

1. ショッピングセンターなどの商業施設におけるフロア案内、店舗広告、クーポン等による来店促進
2. 学校、空港、駅、公共施設などにおける、観光・イベント案内、施設案内等による利便性向上

<商業施設における「次世代デジタルサイネージ」の利用例>

エントランス付近



タッチパネルによるフロア案内や携帯へのクーポンダウンロードで店舗や売り場へ誘導

売り場



店内の設置場所に応じたディスプレイやスポットエリアへのワンセグコンテンツ配信などで購買や店内回遊を促進



ライブ映像配信により、レストランの混雑状況なども気軽にチェック。広い施設内でも効果的な連携を実現

ラウンジなどの滞留場所



投票やクーポン発行などのインタラクティブなコンテンツで興味を喚起。マーケティングや次回来店へ誘導

統合CMSによる一括管理



様々な店内のサイネージを一括管理できるだけでなく、利用ログの活用により、効果的なプロモーションや潜在的なお客様のニーズの分析などが可能

※『FeliCa』は、ソニー株式会社の登録商標です。『UBWALL』『スポットキャスト』は富士通株式会社の登録商標です。その他、本カタログに記載の会社名および商品名は、各社の商標、または、登録商標です。

富士通株式会社

サービスビジネス本部 映像ビジネス推進部

受付時間 9:00～17:30(土・日・祝日・当社指定の休業日を除く) TEL: 03-6424-6583



グリーンITによる環境負荷低減プロジェクト

<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/green-it/>